

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2024

2

No.326



JAつべつ女性部 フレッシュ・ミズ
お菓子作り研修会開催

上里 「びーと畑」 木島智美先生宅にて

日時：令和6年1月17日(水)





JA 情報館



チェーンソー安全使用講習会を開催

令和5年12月13日から15日まで3日間（最終日は昼12時まで）において、令和5年度チェーンソーによる伐木等に係る安全使用講習会を農協本所2階大会議室にて、受講者32名参加のもと開催しました。チェーンソーを使用する作業に従事する者の安全特別教育の講習会として、JAつべつとつべつテイクアクション環境整備チーム（真鍋チームリーダー）が共催し、林材業労災防北見分会に講師を依頼し、座学（伐木等作業に関する知識、チェーンソーに関する知識、振動傷害及びその予防に関する知識、関係法令）と2日目は国安産業の土場をお借りして実技（伐木方法、チェーンソー操作、チェーンソーの点検及び整備）を行いました。外での実技でしたので、受講者の皆さんは防寒対策をしっかりと行い実技にあたっていました。講習会受講後、後日修了証の交付を受けました。



津別町農業委員会との意見交換会開催

令和5年12月15日農協役員会議室において、津別町より佐藤町長他4名、農業委員会から巴委員長他7名、農業公社職員3名、農協からは佐野組合長他5名の合計21名出席のもと、今後の農地保全について意見交換会を行いました。農業委員会の方からは「人・農地プラン」に変わる「地域計画」の策定について、協力の申し入れを受けました。



営農技術懇談会を開催

1月12日農協会議室にて25名出席のもと、テイクアクションミーティングのご協力を頂き、ポスターに掲載しているQRコードを読み込んでもらい、ペーパーレスによる令和5年度 営農技術懇談会を開催しました。今回全員がスマホやタブレットを使用した開催方法を取り入れ、各参加者に好評を頂きましたので、今後もこのような形式による会議の開催を増やしていきたいと考えています。

【懇談内容】

- 1 自給飼料率の向上への取組（耕畜連携）
～ホクレン本所自給飼料課 道場課長補佐
- 2 環境ストレスに対応する資材～㈱カネカ 曾根教勝氏
- 3 なたねの研究成果について
～網走改良普及センター美幌支所 荒木地域係長
- 4 堆肥を投入したコスト低減に向けた効率的な施肥設計～営農課 木俣囑託



▲ホクレン本所自給飼料課 道場課長補佐 ▲㈱カネカ 曾根教勝様

2024 JAつべつ 営農技術懇談会

～つべつ農家の向かうべき姿と展望～
生産者の技術向上及び所得向上に向けて

講演者

13:35-14:15	14:20-15:00	15:10-15:45	15:50-16:30
中川隆史氏 畜産生産課 課長	株式会社カネカ 曾根教勝 氏 環境ストレスに対応 した資材	網走中央改良普及センター 荒木地域係長 氏 なたねの研究成果 について	JAつべつ営農課 木俣 囑託 氏 堆肥を投入したコスト 低減に向けた効率的な 施肥設計

1/12 〇 13:30-16:30

主催：JAつべつ
会場：JAつべつ2F 大会議室



JA情報館



アソビバ!つべつ 秋に収穫した馬鈴薯で「料理教室」を実施

1月13日(土)町民会館にて、昨年青年部の田畑で収穫したお米と馬鈴薯を使ってカレーライスといももちを作りました。アソビバ!つべつの子供たちは17名、青年部(池田健太郎長)6名、女性部(迫田彩由美部長)3名、フレッシュ・ミズ(金一和美会長)1名の合計27名が参加しました。5班に分かれて、班毎にそれぞれカレーを作りました。炊飯といももち用の芋を大鍋で茹でるのは、女性部とフレミズにお願いし、班ごとに味わいのあるカレーライスといももちが出来上がりました。食事の後、稲とじゃがいもの生育の様子と、一年間の活動を写真で振り返りました。当初は12月に開催する予定のところコロナとインフルエンザのため、延期となってしまいましたが無事に開催することができました。



JAつべつ青年部活動をSNSページにて随時更新中です!
是非ご覧下さい! Facebook、Instagram

Facebook QR Instagram QR





J A 情報館



令和6年度 営農計画書の査定面談を実施

1月15日～30日まで述べ12日間（1日10名～11名対応）、JA研修室にて令和6年度営農計画書の査定面談を行いました。営農計画書の樹立に当たっては、過去の実績を振り返ると同時に、目標を定め「何が必要で、また何が足りていないのか」を協議しながら、必要な経営改善策を検討し、所得向上の方策を図ることとなります。本年は、金融共済課1名と営農課4名の合計5名の職員で供給認定に向けて面談を行いました。



令和5年度 農業法人会研修会を開催

1月16日津別町農業法人会（羽田野慎也会長）はJA会議室にて、法人8戸9名、北海道信連北見支所職員2名、JA職員2名合計13名出席のもと、令和5年度農業法人会研修会を開催しました。研修内容は、①Webで講師立藤景子社会保険労務士による「社会保険制度と農業の労務管理について」②講師 経済産業省北海道経済産業局 食・観光産業課 西坂誠洋氏による「農業者でも使える！経済産業省補助事業について」を研修しました。



▲左から北海道信連北見支所 芳本職員と大江職員 ▲立藤景子社会保険労務士（WEB）



令和5年度 スマート農業研究会による講習会開催

1月17日と2月2日にJA会議室にて津別町スマート農業研究会（谷智博会長）による、産地生産基盤パワーアップ事業ブロードキャスター導入者を対象に、スペースアグリサービス新機能説明及び可変施肥に基づく施肥マップ作成講習会を開催しました。出席者は2日併せて23名で、スペースアグリ㈱代表取締役 瀬下隆氏を講師に迎え、人工衛星リモートセンシングを活用した可変施肥システムについて説明頂きました。



役員報酬等審議会を開催

1月19日JA役員会議室にて、令和6年度の理事及び監事の報酬について審議する役員報酬等審議会を開催しました。石井会長より審議結果の答申書が佐野組合長へ手渡されました。

《審議委員》

会 長：石井 博幸
職務代理者：巴 敏博
委 員：鹿中 順一・矢作 芳信・嶋田 治仁





JA情報館



フレッシュ・ミズ お菓子作り研修会開催

前日雪が降り心配されましたが、当日気温はマイナス14℃と寒かったですが、天気は快晴の中、1月17日上里の「びーと畑」木島智美先生の自宅に訪問して、午前中お菓子作り研修会を行いました。JAつべつ女性部フレッシュ・ミズ(金一和美会長)の会員3名が参加して「ブラウニー」を作りました。お菓子が焼き上がる間(40分程度)、ティータイムとして木島先生との会話が弾み、とても楽しい時間を過ごしました。ブラウニーは、お子さんと一緒にお菓子作りをするには丁度良く、バレンタイン用のお菓子にもいいと思います。作り方も簡単で、トッピングもいろいろ楽しめるので自分好みにデコレーションが出来ます。研修会後は、ランプの宿森つべつで食事を楽しみ交流を図りました。



▲左から堂藤友世さん、木島智美先生、丸尾明美さん、千葉由佳子さん

..... 会員募集中 !!

フレッシュ・ミズでは、いつでも会員を募集しています。会員のメンバーは、町外から農家に嫁いできた奥様が多いです。子育ての話や仕事の話、いろいろな話をして楽しく交流しています。興味のある方、体験してみたい方は、営農課(担当:伊藤)までご連絡下さい。

「びーと畑」の木島智美先生のレシピをご紹介します

ブラウニー

材料 17cm×17cm角型 1台分

- ・無塩バター 130グラム
- ・ココアパウダー 25グラム
- ・グラニュー糖 155グラム
- ・卵 100グラム
- ・薄力粉 55グラム
- ・ベーキングパウダー 小さじ1/3
- ・好みのトッピング 適宜



作り方

- 1、大きめのボウルにバターを入れ、湯煎にかけ溶かす。
- 2、バターが温かいうちにココアとグラニュー糖を加え泡だて器ですり混ぜ、粗熱をとる。
- 3、室温に戻した卵を加え、泡だて器ですらにすり混ぜる。
- 4、薄力粉・ベーキングパウダーを合わせ4にふるい入れ、泡だて器で混ぜ合わせる。
- 5、シートを敷いた型に流し、好みのトッピングをし160℃に予熱したオーブンで40分程焼く。
- 6、冷めてから型から出し、切り分け、乾かないように保存する。



▲焼く前



▲「びーと畑」の木島智美先生の自宅で学ぶ



JA情報館



令和6年度 営農組合連絡会議総会 役員決定

1月18日JA会議室にて、令和5年度と令和6年度の第1営農組合から第12営農組合までの営農組合長17名が出席し、第19回営農組合連絡会議総会を開催しました。12営農組合からなる組織代表者が選出されました。

会長 市場 達也（第11営農組合）
副会長 真鍋 宗慎（第3営農組合）
副会長 相沢 伸一（第6営農組合）

組合名	令和6年度営農組合長	区 域
第1営農組合	今井 順司	津別町字東岡の区域
第2営農組合	近藤 雅浩	津別町字活汲の区域
第3営農組合	副会長 真鍋 宗慎	津別町字岩富の区域
第4営農組合	迫田 智治	津別町字東達美、達美、最上の区域
第5営農組合	大松 強史	津別町字豊永の区域
第6営農組合	副会長 相沢 伸一	津別町字美都、上里の区域
第7営農組合	細川 幹生	津別町字高台の区域
第8営農組合	乃村 浩継	津別町字共和の区域
第9営農組合	西原浩一郎	津別町字恩根、栄の区域
第10営農組合	泉 貴宏	津別町字大昭の区域
第11営農組合	会長 市場 達也	津別町字布川、相生の区域
第12営農組合	山下 俊文	津別町字双葉、沼沢、本岐、木樋、二又の区域



▲左から 相沢伸一副会長、市場達也会長、真鍋宗慎副会長



令和5年度 JAつべつ管内における各種実証・研究報告会を開催

1月19日JA会議室において講師を含めて総勢43名参加のもと、令和5年度JAつべつ管内における各種実証・研究報告会を開催しました。

北海道大学 田島准教授による基調講演「寒冷地輪作とてん菜由来の糖蜜から作られる微生物セルロースナノファイバーが世界を変える」と題して、てん菜に対する新たな用途開発を期待する、てん菜の将来性を考える内容の講演を頂きました。

【報告発表】

- ①木材チップで断熱した雪山の体積変化と水不足対応について（夏場の水不足を考える）～北見工大 白川准教授
- ②ポリマーコーティング種子による初冬蒔き栽培法の開発（玉ねぎ・てん菜の直播による経費削減を目指す）～北見工大 浪越准教授
- ③CAN通信を用いたEVクローラ型土壌サンプル及び除草ロボットの開発（みどりの食料システム戦略対応と馬鈴しょのAI処理による機上選別の簡素化の検討）～北見工大 楊准教授
- ④馬鈴しょの畝間未播種による労働力の省力化とコスト削減（馬鈴しょの品質向上と経費削減を考える）～北農研 朱里研究員
- ⑤地温の予測システム（春・晩秋の播種・収穫のタイミングを計るシステムの構築）～北農研 小南グループ長



▲北海道大学 田島准教授



▲北見工大 白川准教授



▲北見工大 浪越准教授



▲北見工大 楊准教授



▲北農研 朱里研究員



▲北農研 小南グループ長



JA情報館



女性部とフレミズの二部合同大豆選別作業実施

1月22日午前中、農協本所2階エントランスにて女性部10名、フレミズ4名合計14名参加のもと、大豆選別作業を行いました。部員から提供して頂いた収穫時の大豆を1月24日に二部合同豆腐作り講習会を行う予定の為、その時に使用する大豆を事前に部員に集まってもらい選別作業をしています。各自お菓子の空き箱のフタやトレー等を持参してもらい、約32升(48kg)を選別しました。大豆の選別作業班と、昼食用の豚汁とおにぎりを作る料理班に分かれて、各自作業を行い、部員が炊いて持参したごはんでおにぎりを約60個と豚汁も大鍋に2つ作りしました。作業の後、みんなでの食事はとても美味しく味も抜群でした。職員も豚汁の大盛りとおにぎりを頂きました。



▲大豆選別作業



▲作業後の美味しい楽しい昼食(豚汁とおにぎり)風景

女性部とフレミズの二部合同豆腐作り講習会開催

1月24日津別町加工センターにて女性部8名、フレミズ2名合計10名参加のもと、豆腐作り講習会を行いました。先日(1月22日)選別した大豆を前日に1日うるかしておいた大豆8升(12kg)を使って、大鍋2つに磨り潰した大豆をそれぞれ4升ずつ茹でて豆腐40丁作りしました。4月12日に女性部で1回目の豆腐作りを行っており、今回2回目になる為、手際良く作業が進み、前回より早く終わる事が出来ました。豆乳が固まらなかった場合どうしようかと、にがり担当の部員は不安がっていました、無事美味しい木綿豆腐が出来上がりました。



▲大豆を大鍋で茹でる



▲77℃になるのを確認





JA情報館



酪農振興会懇談会を開催

1月22日にJA会議室にて役員3名の他、会員8名の出席のもと、津別町酪農振興会（中田晃一朗会長）は懇談会を開催しました。例年、2地区に分かれて行っていた懇談会でしたが、今年度より2地区合同開催と致しました。内容は、主に令和5年度振興会活動の総括、令和6年度の情勢見込と諸対策について意見交換を行いました。昨年度に続き、飼料価格の高騰、個体販売価格の低迷と厳しい酪農情勢となりました。また、夏場の猛暑による影響もあり生乳生産量も伸び悩む年度となりました。次年度も厳しい情勢が続くことが想定されますが、安全な生乳生産に向けて、引き続き点検及び検査、生乳対策を実施していきます。



第9回ふるさと塾開催

1月29日入塾者22名のうち6名出席のもと、午前中はオホーツクビーナスファクトリーにて清水工場長の説明を聞いた後、工場内を見学させて頂きました。午後からは、美幌普及センターの中野専門普及指導員と荒木係長を講師に迎えて、ワークショップ形式にて、これからの課題や目指す方向等を入塾者に今思っていることを発表してもらいました。荒木係長からは、なたね栽培試験について説明がありました。今回出席者が少なかった事は残念でしたが、2年間のふるさと塾の講義はこれで終了となります。2月に閉校式を予定しています。



家の光

□ IENO HIKARI

創刊100周年に向けて
『家の光』が
2024年5月号から
誌面リニューアル!!

お申し込みはお近くのJAへ

- 定価(税込)
- 普通月号 629円
- 付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
- 家計簿付き12月号 1,027円

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

RENEWAL



表紙はこんな感じ!
(デザインイメージです)

ATMなどのサービスを 一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

このたびJAバンクはお客様へのサービスや利便性の向上を目的としたシステム更改に伴い、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

休止日**2024年
(令和6年)****3月10日****日曜日**全取引休止
6:30-9:00**4月29日****月曜日・祝日**一部取引休止
0:00-24:00**5月18日****土曜日**全取引休止
21:00-翌8:00**5月26日****日曜日**一部取引休止
0:00-24:00**7月14日****日曜日**全取引休止
6:30-9:00**7月15日****月曜日・祝日**一部取引休止
0:00-24:00**8月17日****土曜日**全取引休止
21:00-翌8:00

すべてのサービスが休止

道内JAのATMとJAネットバンクサービスはご利用可能

**休止する
サービス**JAバンクの
ATMコンビニ等の
ATMJAネットバンク
サービスJ-Debit
ジェイデビット**現金のお引き出しはお早めに。**

お客様にはご不便をおかけし誠に申し訳ございませんが、
あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

※JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用可能日、ご利用可能時間およびご利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。
詳しくは、JA窓口・ホームページ等でご確認ください。

JAバンクのホームページ
<https://www.jabank.org>

営農課からのお知らせ



2月中旬～3月中旬までの営農技術について

◆降雪に対する防災環境の整備と事前準備を進めましょう

「冬季被覆パイプハウス」では、大雪や吹雪により屋根部に積雪した場合に、気温が低い時に降る乾いた雪は50kg/m²位ですが、0℃前後で降る湿った雪では100kg/m²を超えます。雪でたるんだ被覆ビニールを、ビニール下から棒やスコップ等で突いても雪は持ち上がり、ビニールが裂けて雪の下敷きになりハウスが潰れる恐れがあるので、ハウス外側から雪庇落とし等を使って除雪して下さい。

◆たまねぎの播種前準備

これまでの風雨や降雪により施設各部の損傷・ゆるみ・たるみなどが点検し、補修を行って置いて下さい。

- ① 施設周辺は小まめに除雪して採光性を高め、すき間や破れの修復を行い、ハウス内の気密性を高め保温・加温効率を上げる。
- ② 出入口は、外側から目張りする。開口部は重ね合わせて夜間の寒風流入を防ぐ。
- ③ 内張りカーテンは多層被覆する。被覆資材間は6cm以上を確保し、保温性を高める。
- ④ 温風暖房機は、サーモセンサーを点検するとともに、ノズル周辺の清掃やバーナーのエアシャッター（燃烧空気取入口）を調整して燃焼効率を高める。
- ⑤ 多段式サーモ装置を使用し、作物の生育に合わせて時間帯により設定温度を変えて管理する。特に夜間は、呼吸消耗を抑制する上でも生育の最低温度で管理する。
- ⑥ 育苗に電熱線を使用する場合は、断熱材等を敷いてから設置して保温効果を高めるとともに、サーモの設定温度にズレがないか確認する。

◆たまねぎ播種後の管理

雪の重みで被覆ビニールがたるみ自然落下が困難になったり、吹きだまりや日当たりの良い南側の屋根雪だけが落ちる等で、ハウスに歪みが発生する事があります。早めに雪庇落とし等を使用し雪下ろしを行って下さい。

大雪警報等が発令された際は、直ちに補強支柱等の臨時的補強材を取り付け、屋根被覆材の表面に雪の自然落下を妨げるような突出物等がないか、また、ビニールやハウスバンド等のゆるみの再点検を行う必要があります。

加温設備がある場合は、降雪開始と同時に可能な範囲で設定温度を高め、加えて内張りを開放するなど外張りの天張面を温め落雪を促す事が重要です。ただし、たまねぎの適温範囲内での開閉管理として下さい。

◆たまねぎの育苗管理

播種～伏せ込みまでの管理

- ① 育苗用ポット培土は、タマネギ育苗専用培土を使用し、使用方法については各メーカーの使用マニュアルに従う。

- ② 下敷きネットの上に苗箱（成型ポット）を並べ、踏み板を使い苗床とポット底部を十分に密着させる。
- ③ 設置後の最初のかん水は、地温確保のため出来るだけ午前中に行う。
- ④ 育苗ポットを被覆するシルバーポリトウは、ポットの上の水が引いてから直接かけ、トンネルで二重被覆にして保温する。
- ⑤ 温度計をハウス内・トンネル内・ポット内に設置し、目標温度を維持する。
- ⑥ 「北もみじ2000」「オホーツク222」は、高温（25℃以上）の影響で発芽や生育のばらつきが発生しやすいので、特に温度管理に気を付ける。
- ⑦ 発芽が80～90%程度、中央部の草丈1～1.5cmを目安にシルバーを除去する。
- ⑧ シルバー除去後、かん水を行い発芽を完全に揃える。

◆土壌の融解促進

昨年の12月12日の降雪から根雪となったものの、その後も降雪は少なく、年明けの1月20日時点での土壌凍結深予測システムによる全町の平均凍結深は、20cm程度となっています。積雪量は30cm程度であるにもかかわらず、気温の低下がそれほどなく、土壌凍結は進まなくなっています。このため、野良イモが凍結する－3℃に足しているのは、地表から5cm程度と考えられます。このままでは、野良イモの発生が懸念されます。

土壌凍結は土壌の砕土性は良くなり、野良イモの発生は抑えられますが、春先の作業が遅れる可能性があります。融雪が遅れる山際や吹き溜まりの多い圃場など、今から融雪剤等の準備を行い、早期（平均気温が-3℃以上になったら：平年では3月14日頃、昨年は3月5日頃）に融雪剤を散布して、地表面を出して土壌の融解を進めて下さい。特に秋まき小麦や植え付けの早いたまねぎ・春まき小麦は、今年の出来秋を決める重要な作業となります。



農業者年金の3つの税制優遇

農業者年金は
税の軽減の立役者です！

年金積立
しながら
税軽減



ポイント1 支払った保険料は **全額社会保険料控除の対象！**

ポイント2 **運用益は非課税！**

ポイント3 将来年金として受け取る際も **大きな控除！**

詳しくは… [農業者年金基金](#) [検索](#) <https://www.nounen.go.jp>



ポイント1

支払った保険料は、 全額社会保険料控除の対象！

支払った保険料は、将来年金として受けられるというメリットだけでなく、支払った家族分の保険料も含めて社会保険料控除の対象となり、大きく税が軽減されます。

農業経営にゆとりが出たときは、保険料の毎月の保険料額を増額したり、翌年1年分をあらかじめ一括して納付する「前納納付」で当年中に納付する保険料額を増やして、税軽減額をアップすることもできます。

■保険料支払いによる税軽減額（所得税・個人住民税・復興特別所得税）の目安

課税対象所得	税率	保険料月額2万円 (年額24万円)の場合	保険料月額6万7千円 (年額80万4千円)の場合
195万円以下	15.1%	3万6千円	12万1千円
195万円超330万円以下	20.2%	4万8千円	16万2千円
330万円超695万円以下	30.4%	7万3千円	24万4千円

※保険料支払い後も保険料支払い前と適用される税率に変更がないものとして試算しています。

ポイント2

運用益は非課税！

制度発足以降20年間の運用利回りは、年率で+2.94%！

一般の預貯金等の利子には約20%の税金がかかりますが、農業者年金の運用益は非課税です。そのため、その分多く年金の原資として積み上がります。

また、事務経費についても国が負担しているため、支払った保険料の全額が運用されます。

■年金資産の運用実績

年 度		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
修正総合利回り(%)		－4.65	5.99	3.4	9.8	3.27	－4.73	－9.25	9.14	－0.06
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
2.36	9.62	7.75	8.78	－0.69	3.26	4.75	7.71	－2.08	10.82	2.39

平均運用利回り 年率で+2.94%

ポイント3

将来年金として受け取る際も、大きな控除！

受け取る年金は公的年金等控除が適用

農業者年金として受け取った年金は、税制上、公的年金等控除の対象となり、65歳以上の方であれば、公的年金等の合計額が110万円※までは全額控除されます。

※公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額が1,000万円以下の場合

死亡一時金もあり安心、しかも死亡一時金も非課税

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として要件を満たす遺族が受け取れ、死亡一時金は非課税です。※加入期間等により保険料払込額を下回る場合があります。

農業者年金の内容やご相談については、
最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金に
お問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

●専門相談員

TEL: 03-3502-3199

●企画調整室

TEL: 03-3502-3942

2023.5



2月下旬・3月上旬の主な行事

2月 16日	金	決算監査（～21日）	3月 1日	金	地区懇談会
17日	土		2日	土	閉庁日
18日	日		3日	日	
19日	月	津別スマートコンソ会議、総務常任委員会	4日	月	地区懇談会
20日	火		5日	火	経営会議、農産合同総会
21日	水	年金友の会定期総会、 鹿児島経済連スマート農業懇談会	6日	水	監査代替的調査中央会（～8日）
22日	木		7日	木	
23日	金	天皇誕生日	8日	金	
24日	土	指定休日	9日	土	
25日	日		10日	日	
26日	月		11日	月	企画会議
27日	火		12日	火	
28日	水	新設スケール棟視察、理事会	13日	水	
29日	木	辞令交付、栽培技術講習会	14日	木	
			15日	金	理事会



根本美沙の
発酵つくりおき
少量だから気軽に
続けられる



枯らさず長く楽しむ
花の育て方図鑑



ぜ～んぶひとりで
できちゃう！
小学生のお料理ブック

第十二回理事会報告

開催日 令和6年1月29日

報告事項

- ① 令和5年12月末財務状況並びに決算予測について
- ② 共計品の本精算について
- ③ 令和5年度クミカン取引実績並びに清算状況について
- ④ 融資実行状況について
- ⑤ 役員報酬等審議会の答申について
- ⑥ 令和5年度監査代替的調査・内部監査（期中Ⅱ）の報告書について
- ⑦ 営農組合連絡会議総会の顛末について
- ⑧ 常任委員会の顛末について
- ⑨ 各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
- ⑩ 各課報告事項について

付議事項

- 議案第1号 理事に対する令和6年度クミカン供給認定について
- 議案第2号 子会社の令和6年度クミカン供給認定について
- 議案第3号 期末賞与の支給について
- 議案第4号 出資金の持分譲渡について
- 議案第5号 令和6年度内部監査計画について
- 議案第6号 令和6年度農地保有合理化事業に伴う確約書の提出について
- 議案第7号 小麦調整施設増強工事に係る借入について
- 議案第8号 固定資産の除却について

協議事項

- ① 令和6年度事業計画の策定について
- ② 事業分量配当について
- ③ 第10次農業振興計画・中期経営計画について